

平成 27 年度に係る業務の実績に関する評価結果 国立大学法人東京外国語大学

1 全体評価

東京外国語大学は、日本を含む世界諸地域の言語・文化・社会に関する教育と研究を通じて、地球社会における共存・共生に寄与することを基本的な目標としており、教育と研究の両面において大学の独自性を最大限に発揮し、地球社会化時代の未来を拓く教育研究の拠点大学を目指している。第 2 期中期目標期間においては、豊かな人間性、深い思考力、鋭利な感性を養い、高度なコミュニケーション能力、豊かな教養、広い視野を身につけ、さまざまな文化的背景を持つ世界諸地域の人々と協働して地球的課題に取り組むことができる人材を養成すること等を目標としている。

この目標達成に向け、学長のリーダーシップの下、クォーター制の導入により短期海外プログラムに参加する学生の受入・派遣を大幅に増加させて国際交流を促進するとともに、日本社会のグローバル化を英語圏に偏らない形で進めるための取組を実施するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の取組状況について

第 2 期中期目標期間においては、次のような「戦略性が高く意欲的な目標・計画」を定め、積極的に取り組んでいる。

○ 「人と知の循環を支えるネットワーク中核大学」として、海外協定校と共同で教育を行う「Joint Education Program」の実施、クォーター制の導入、「Global Japan Office」の設置等の取組を通じて、多言語グローバル人材を養成するとともに日本から世界への発信を担うことを目指した計画を定めている。

平成27年度は、「TUFUSクォーター制」を導入するとともに、「Joint Education Program」を学士課程で 9 件、大学院課程で 18 件実施している。また、新たに 13 の海外大学と学生交流協定を締結しており、これらの取組により単位取得を伴う留学を経験する学生数が約 1.8 倍に増加し、学部学生に占める 2 度の留学経験者の割合が 11.1% となっている。さらに、主な協定大学に「日本語教育・日本教育」の拠点となる「Global Japan Office」を新たに 6 拠点設置し、合計 10 拠点を運営している。

○ 国際的な日本研究を深化し、日本の発信力、国際的なプレゼンス向上に寄与することを目指した計画を定めている。

平成27年度は、大学院国際日本学研究院を設置するとともに学士課程において「全学教養日本力プログラム」を開始するなど教育課程の改組を行っている。また、ユニット招致計画に基づき外国人研究者 2 名を招へいし研究会や国際シンポジウムを開催しているほか、日本語教育に関する 3 事業を推進している。加えて、本計画を円滑に遂行するため、ガバナンス機能を強化し年俸制とクロスアポイントメント制度を導入している。

大学の機能強化に向けた取組の状況について

国際的・総合的な視野で日本を捉え、わが国の発信力の強化を目指す「国際日本研究」を推進するため、大学院国際日本学研究院を設置し、同研究院にロンドン大学東洋・アフリカ研究学院（英国）から第一線の外国人研究者2名を招へいしているほか、国際日本研究教育人材を養成し、大学の日本発信力の強化に資するため、クロスアポイントメント制度を活用して国立国語研究所の日本語研究者を2名雇用している。

また、東京農工大学及び電気通信大学と連携して文理にまたがる領域横断的で実践的なグローバル人材の育成を実施しているほか、スペイン語・ポルトガル語圏の在京公館をネットワーク化し、日本におけるスペイン語・ポルトガル語圏の教育・研究を支援する「Mundus Latinus in Japan」を創設するなど、国際水準の教育研究を展開している。

2 項目別評価

<評価結果の概況>

	特 筆	順 調	おおむね 順調	やや遅れ	重大な 改善事項
(1) 業務運営の改善及び効率化		○			
(2) 財務内容の改善		○			
(3) 自己点検・評価及び情報提供		○			
(4) その他業務運営		○			

I. 業務運営・財務内容等の状況

(1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

①組織運営の改善、②事務等の効率化・合理化

【評定】中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載12事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

平成27年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

○ 学長を長とする戦略策定体制における企画立案機能の強化

学長を長とする総合戦略会議の下に、それぞれ担当理事を長とする教育、研究、国際、人事・財務の4つの機能別オフィスを置き、関係部局長の参加を得ながら各オフィスの担当する分野への対応や大学の将来構想案の策定等を行っている。この体制を整えることにより、将来構想等について学内の意思決定機関による審議が行われる前に、現場の意見を踏まえた実質的な案を作成することが可能となっている。

○ クロスアポイントメント制度を活用した教育研究水準の高度化

人間文化研究機構との間で協定を締結し、平成28年度から国立国語研究所の教員2名をクロスアポイントメント制度により採用することとしている。当該機関の研究者の参加により日本語研究の研究水準の高度化を図るとともに、人件費を抑えた形で他分野の研究者を受け入れた実例として将来の教員採用において参考にすることとしている。

(2) 財務内容の改善に関する目標

①外部研究資金その他の自己収入の増加、②経費の抑制、③資産の運用管理の改善

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載5事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

平成27年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

○ 教育研究成果を活用した自己収入の増

大学の教育研究活動を社会に還元するオープンアカデミー事業について、広報活動を充実させるとともに語学講座の増加等の見直しを図った結果、対前年度比10.3%の増収を実現している。

(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

①評価の充実、②情報公開や情報発信等の推進

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載2事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

(4) その他業務運営に関する重要目標

①施設設備の整備・活用等、②環境管理、③安全管理、④法令遵守、⑤大学支援者等との連携強化

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載8事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

平成27年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

○ 海外に渡航する学生の安全対策の強化

海外に渡航する学生の安全に対する意識の向上を図るため、外部から専門家を招き、海外危機管理セミナーを開催しているほか、海外渡航中の学生の安全対策として、留学中の状況や事件・事故などが起こった際の安否をオンラインで瞬時に確認することができる海外渡航情報システム「ただいま留学中」を独自に開発し、運用している。

Ⅱ. 教育研究等の質の向上の状況

平成27年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

○ 国際的な視野からの日本研究の推進

発信力を一層強化し国際的視点からの日本研究を実現するため、日本国内と海外からの比較の視座を主軸とする研究プロジェクトの推進と、日本研究にかかる履修プログラムモデルの構築等に向けて、大学院国際日本学研究院を設置し、同研究院においてロンドン大学東洋・アフリカ研究学院（英国）から第一線の外国人研究者2名を招へいして共同研究を進めている。

○ クォーター制による学生の国際交流の推進

1年間を4つの学期に分ける「TUFSCクォーター制」を導入した結果、特に夏・冬学期を利用した短期海外留学プログラムに参加する学生が派遣は493名（平成25年度は92名）、受入は88名（平成25年度は29名）と大幅に増加しており、海外の交流協定校等との間の学生交流が促進されている。

○ 「留学200%」計画の推進

学生に在学中に最低2回の留学を経験させるという「留学200%」計画を推進するため、「TUFSCクォーター制」の導入に加え、新たに13の海外大学と学生交流協定を締結する等の取組を行った結果、学部卒業生に占める2回の留学経験者の割合は平成26年度の1%から、平成27年度には11.1%へと増加している。

○ 多様性を確保した社会のグローバル化への貢献

日本社会において、英語圏に偏ることのない、多様性を確保したグローバル化への対応を促すため、大学が中心となってスペイン語・ポルトガル語圏の在京公館をネットワーク化し、日本におけるスペイン語・ポルトガル語圏の教育・研究を支援する「Mundus Latinus in Japan」を創設している。

共同利用・共同研究拠点関係

○ 消滅危機言語の情報資源整備

アジア・アフリカ言語文化研究所では、急速に失われつつあるタンザニアのベンデ語について、フィールド現地調査の成果を踏まえた教本と語彙集等の情報資源を整備し、ウェブサイト上で公開している。